



勝間田っ子

<http://gakuji.town.shoo.lg.jp/katsumada-es/letters-katsumada-es/>



ハモの給食提供がありました

9月5日(木)、岡山県農林水産部水産課様から、県北での岡山県水産物の認知度向上と消費拡大のため、岡山の旬の魚に選ばれたハモを学校給食で無償提供いただき、ハモの給食を実施いたしました。

給食前の4校時に、5年生は社会科で、水産課の方や水産研究所の方から岡山県の水産業について学びました。水産課の方からは、岡山県の川や海、瀬戸内海で捕れる魚や漁の仕方を、水産研究所の方からは、ハモの大きさや特徴、ハモ漁の仕方も動画で教えていただきました。授業の最後には、実際にお持ちいただいた本物のハモを、手袋をつけて触らせてもらって大興奮でした。

早速、お昼の給食で、全校でハモについての動画を見ながら、ハモの天ぷらをいただきました。ハモの天ぷらは、とてもふっくらしていて、児童からは「おいしい!」の声がたくさん聞かれました。この日の学習パンフレットやハモのレシピ集4枚は、全員に配付していますので、おうちでも親子で見てください。初めてハモを食べた児童もたくさんいました。是非お試しを!



第3回学校運営協議会 熟議は「あいさつ・言葉遣い」

台風到来のため延期になった第3回学校運営協議会は、9月4日(水)に無事実施することができました。今回は、学校から7月10日から26日に実施した第1回学校評価アンケートの結果をお伝えし、PTAの取組、地域学校協働本部事業からの報告を受け、学校運営協議会委員と教職員で小グループを作り、「あいさつ・言葉遣い」についてグループ協議を行いました。

昨年度末の保護者アンケートでは、児童のあいさつの項目が58%と他の項目に比べるとかなり低かったですが、本年7月現在、75%と17ポイントもアップしました。さらによくしていくためには、地域のご協力を得ながらあいさつ運動を広げていくことや高学年・通学班等のリーダーの育成、家庭での啓発が大切であることなどが挙がりました。

言葉遣いについては、様々な体験が大切で、時と場に応じて言葉遣いを学ぶ場が必要であることなどが挙がっていました。なぜあいさつをしたり、言葉遣いに気をつけたりしなければならないのか児童に考えさせたいという意見も出ていました。ご意見を反映させた活動を実践して参ります。

保護者アンケート項目	回収率89%	肯定的回答率	
		R5年度	R6年度7月
① 子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	83%	88%	+5
② 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	82%	84%	+2
③ 子どもは、話したり遊んだりする友だちがいると言っている。	94%	93%	-1
④ 子どもは、朝、家で進んでよくあいさつをする。	58%	75%	+17
⑤ 先生は、読み・書き・計算などの基礎学力の定着のため、きめ細かい指導をしている。	88%	90%	+2
⑥ 先生は、子どもの困ったことや悩みなどを理解し、誠実に対応するようにしている。	86%	86%	±0
⑦ 先生は、子どもの良さや努力したことなどをしっかり認めようとしている。	93%	93%	±0
⑧ 先生は、仲間外れやいじめなどを許さず、一人一人を大切に育てようという心掛けています。	91%	91%	±0
⑨ 先生は、必要に応じて家庭との連絡を行っている。	91%	93%	+2
⑩ 学校は、落ち着いた学校・学習環境づくりになるよう努力している。	91%	91%	±0
⑪ 学校は、子どもの安全や事故防止に配慮している。	92%	96%	+4
⑫ 学校は、人権を尊重する意識を育てている。	90%	94%	+4
⑬ 学校は、教育方針や教育活動の様子を学校だよりや学年だより等で分かりやすく伝えている。	93%	97%	+4
⑭ 学校は、保護者に対して誠意を持って対応したり、相談に応じたりしている。	91%	95%	+4
⑮ 学校は、保護者や地域の人が授業や学校行事を参観する機会を設けている。	98%	98%	±0

勝間田っ子「行動指標」の見直し

今年の夏休みの研修で、今まで児童の自己肯定感を育てるために作成していた「行動指標」の見直しを行いました。これまでの行動指標は、項目も多く、転勤者も多い今年、さらに児童や教職員が活用しやすいものにしようと検討を重ね、2学期から活用をしています。

早速、運動会練習も始まり、全校で「運動会ノート」を活用し、この行動指標に基づいた目標設定を行い、日々の振り返りを行っています。事前、中間、事後の三回、自己の行動指標の評価を行い、自己の変容を再認識できるようにしています。今週末は、いよいよ運動会です。日々の努力や積み重ねが見られる運動会となるよう、全校で頑張ります。ご期待ください!!!

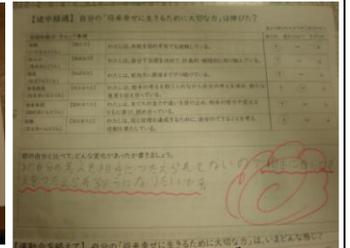
笑顔いっぱい 勝間田っ子 ~自ら学び、共に伸びる児童の育成~

自ら学ぶ子ども (対自的な勝間田っ子非認知能力)		
挑戦	向上心	根気
自信を持っていることと興味を広げてやることで、喜びと達成感を感じることができる。	自分で定めた目標のために取り組み、次の課題や目標も見つけることができる。	失敗しても気持ちを切り替え、繰り返しあきらめずに最後までやりこることができる。
いどむ...	高める...	ねばり...
【挑む力】	【高める力】	【ねばる力】
①低 どんなことでも、まずやってみる。	①低 自分で目標を決めて、取り組む。	①低 時間いっぱいやり続ける。
②中 苦手なことにも進んで挑戦する。	②中 自分で目標を決めて、計画的に取り組む。	②中 最後まであきらめずやり続ける。
③高 失敗を恐れず何でも挑戦する。	③高 自分で目標を決めて、計画的・継続的に取り組む。	③高 前向きに最後までやり続ける。

共に伸びる子ども (対他的な勝間田っ子非認知能力)		
意思疎通	他者承認	協働
自分の考えをもち、相手のことを考えながら伝えたり、聞いたりすることができる。	自分と他者の違いを受け入れるとともに、他者の強みや成長・頑張りに気づくことができる。	周囲の他者と互に仲間意識を持ってつながり、お互いに協力することができる。
伝え合い...	認め合い...	支え合い...
【伝え合う力】	【認め合う力】	【支え合う力】
①低 自分の考えを伝えて伝えたり、最後まで話を聞いたりする。	①低 自分と相手との違いに気づき、受けとめる。	①低 力を合わせて一緒に取り組む。
②中 自分の考えを根拠をもって伝えたり、違いや良さを見つけながら聞いたりする。	②中 相手の努力や変化に気づき、前向きに受けとめて認める。	②中 同じ目標を達成するために協力し、力を合わせて一緒に取り組む。
③高 相手の考えを取り入れながら自分の考えを深め、新たな意見を伝え合う。	③高 良さや違いを受け止め、相手の努力や変化をともに喜び、認め合う。	③高 同じ目標を達成するために、自分のできることを考え、役割を果たす。



入場行進



色別スローガン



高学年表現



中学年表現



低学年表現



児童誓いの言葉

熱中症に気をつけよう

9月2日より、養護教諭志望の教育実習生さんが2名来られています。運動会練習では、毎日暑く、児童の健康状態の見守りや熱中症計の点検、お昼の校内放送等、学校の職員と一緒に児童を見守ってくださっています。お二人は、それぞれ3年生、5年生で「熱中症の防止」についての授業をしてくださり、児童の熱中症に関する知識や技能を高めていただきました。

◆◆◆ 主なトピックス ◆◆◆

- ※9月4日より、横山溪一事務主事が育児休業に入り、小島さおり事務職員が勤務しています。
- ※9月11日より、児童の心の変容を早期に掴んで対応するため、タブレットの中にLEBERというソフトを導入し、4年生以上で「心の健康観察」を始めました。
- ※3年生が静岡県小山町立足柄小学校とはがきのやりとりを始め、金太郎の生涯の絵本づくりを開始します。

